

七回忌法要営む

熊本教区益北組

「全国からの支援が再建につながっている」



.....
により大きな悲しみに 参拝した江藤紀子さ

熊本地震で甚大な被害を受けた熊本教区益北組（小夏憲雄組長、24カ寺）は4月13日、全壊した本堂を再建した光輪寺（山田敬史住職、熊本市東区）で七回忌法要をつとめた。新型コロナウイルスに対応するためオンライン参拝を行った。

挨拶し、「組内の7カ寺が全壊、2カ寺が大規模半壊、7カ寺が半壊し、それ以外の寺院も一部損壊した。そして多くのご門徒が被災した。また路上ではあるが、全国からの支援が再建につながっている」と語った。

包まれましたが、支援の時は一人で車中泊してくださった大きなぬくもりに包まれました。大きなぬくもりはくり返るかと思うほど次々に起こる災害支援の強い揺れで、とても恐ろしかった。そんな時に山田住職が自転車で『保育園にどうぞ』

法要では、導師を務めた山田住職が「震災

共念仏の道を歩みますと表白を読み上げ、阿弥陀経をおつとめした。蓮光寺の大友公司心できた」と当時の状況を語った。

た。蓮光寺の大友公司心できた」と当時の状況を語った。

法要前に小夏組長が

めた山田住職が「震災

住職が法話をした。

況を語った。